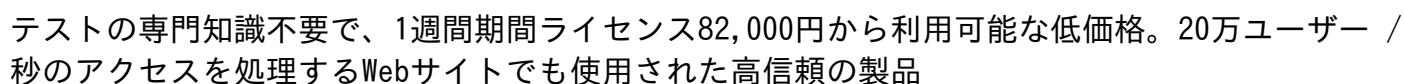


モバイルアプリケーションの負荷テスト・性能検証をノンプログラミングで自動化する「StressTester日本語版」を独占販売



アプリケーション開発における負荷テストを自動化するツール「StressTester（ストレス・テスター）日本語版」を、国内で初めて提供開始します。

「StressTester」は、多数の仮想ユーザーを作り出し、サービス開始前のWeb / モバイルアプリケーションへのアクセスを疑似的に実行させることで、サーバ、ネットワークなど、システムへの高負荷状態を発生させて、アプリケーションと稼働プラットフォームの問題点を発見し、解決を支援します。

Cの多くのサービスがWebで提供され、稼働後のシステム障害やサービスレベル低下を防ぐために負荷テストのニーズが高まっていますが、従来の高機能なツールは高価で操作が難しく、フリーのツールは機能や性能が不十分でした。「StressTester」は、アプリケーションテストに必要な機能を競合他社製品の約半分～3分の1の低価格で提供し、以下のような特長があります。

一般的な負荷テストツールは負荷テスト計画に基づきスクリプトを作成してテストを実行しますが、「StressTester」は、「ユーザジャーニー」機能により、負荷テスト計画に基づいて直観的

なGUIで操作を行うだけで、それが記録され、負荷スクリプトが自動生成されるので、テストスクリプトの作成や専門知識は不要で、短期間のトレーニングで容易に習得でき、テストに要する時間も大幅に短縮します。

◆ 充実したレポート機能

「StressTester」は、アプリケーションのパフォーマンス（レスポンスタイムなど）やスケーラビリティを分析し、負荷テスト中は、リアルタイムにアプリケーションやサーバ、基盤リソースを監視しています。負荷テスト結果やリソースの情報は、様々な視点からグラフィカルに表示され、システムリソースが十分か、ボトルネックはどこかなどを的確に分析できます。

◆ モバイルアプリケーションにも最適

さらに、昨今のアプリケーションはスマートフォンやタブレットなどのモバイル端末からの利用が多くなっていることから、モバイルアプリケーションへの負荷テストに最適な機能を搭載しており、実際のクラウド環境、帯域幅に制約のあるオンプレミス環境、モバイルネットワーク（3G、3G+、H+、4G LTEなど）をシミュレートし、待ち時間やパケット損失をシミュレーションできます。また、サーバに多種の負荷をかけ、モバイルユーザの応答時間をチェックするネットワークエミュレーション機能も搭載しています。

◆ 柔軟なライセンス体系

「StressTester」は、25仮想ユーザーから2万仮想ユーザー、あるいは仮想ユーザー数無制限まで、規模に応じて導入可能で、海外では20万ユーザー / 秒のアクセスを処理するシステムでも実績があります。永続ライセンスの他、期間ライセンス（1週間 / 1カ月）があり、プロジェクトごとの使用も可能です。システムインテグレータ、サービスプロバイダは、用途や規模に応じて最適なライセンスを購入できます。

「StressTester」の無料評価版は、以下のWebサイトからお申し込みが可能です、使い易さを体験できます。

<http://www.gdep-sol.co.jp/products/cloud/StressTester.html>

◆ 「StressTester」の構成と仕組み

「StressTester」は以下の4つから構成されます。

- (1) StressTester グラフィカル・ユーザ・インタフェース (GUI) … 設定・管理
- (2) StressTester データベース … 設定情報、テスト結果等を保存
- (3) StressTester インジェクター … モバイル / Webアプリケーションに負荷をかける
- (4) StressTester モニターエージェント…パフォーマンス監視

- (1) (2) GUIとデータベースを提供する「Designer」をPCにインストールします。

(3) インジェクターは、モバイル /

Webアプリケーションへの負荷を疑似的に発生させるソフトです。通常は、複数台設定します。

(4) モバイル /

Webアプリケーションサーバ側にインストールしてパフォーマンス監視する「モニターエージェント」は、Windows、Linux /

UNIXの他、多様なWebアプリケーション（Websphere、WebLogicなど）やデータベース（PostgreSQL、DB2、Oracleなど）をサポートしています。「モニターエージェント」をクラウド環境に置き、負荷テストをクラウドサービスとして提供可能です。

◆「StressTester」の販売について

◇ 販売方式：永続ライセンスと期間ライセンス（1週間/1カ月）があります。

◇ 販売価格（税別）：

・永続ライセンス

491,800円/25仮想ユーザー ～ 14,256,000円/仮想ユーザー数無制限

・期間ライセンス

（1週間）82,000円 /25仮想ユーザー ～ 2,376,000円/仮想ユーザー数無制限

（1カ月）164,000円 /25仮想ユーザー ～ 4,752,000円/仮想ユーザー数無制限

◇ 販売 / 出荷開始：[2016年6月1日](#)

※最小仮想ユーザーは25ライセンスからです。

※上記の他に、必要に応じて、「モニターエージェント」（永続ライセンス820,000円～、1週間期間ライセンス136,600円～、1カ月期間ライセンス273,400円）、および

「Designer」（永続ライセンス/1週間期間ライセンス79,200円～、1カ月期間ライセンス158,400円～）が必要となります。

※永続ライセンスは初年度のメンテナンスサービス、期間ライセンスは、ライセンス有効期間中のメンテナンスサービスが含まれます。

◇販売目標：システムインテグレータ、サービスプロバイダを主なターゲットとして、初年度5,000万円

◆「StressTester」の導入事例

(1) The Weather Channel

モバイル向けの天気ポータルサイト（予報、レーダーマップ、嵐の追跡等）をテストで、20万ユーザー /

秒のアクセスを処理する性能の確認の必要があったが、従来使っていた他社の負荷ツールでは、この規模の負荷を掛けることができず、無制限の負荷がかけられる

「StressTester」を導入しました。

実際の負荷テストでは、大規模同時アクセス時には、データベースとユーザインターフェースとの入出力でのボトルネックが確認され、アプリケーションの改修とアプリケーションサーバを増やすことで対応し、20万ユーザー / 秒のアクセス処理を達成しました。

(2) ヒースロー空港

IBM Maximo

をベースとした、ロンドン・ヒースロー空港向け資産管理アプリケーションをテストで、モバイル 100端末とPC

300端末の同時アクセスを保証する必要があり、モバイルとPCに同時に負荷を掛けられる「Stress Tester」を選択しました。事前負荷テストにより、ユーザインターフェースとの入出力での問題を特定し改善することができました。

(3) PayWizard

1億人以上のペーパービュー（スポーツイベントや動画）の購入を処理し、600万人以上の加入者を獲得している業界をリードする大手事業者。個人向けスポーツイベント番組の視聴受付、課金など一連の処理を行うポータルサイトで、大型イベントで締め切り前の

1時間に6万件の申し込みを処理する必要があり、「StressTester」を使って短時間でスケーラビリティとパフォーマンスのテストすることができ、コンテンツ配信顧客（放送事業者）に対し、処理能力を証明しました。

■ GDEPソリューションズ株式会社について

<http://www.gdep-sol.co.jp/>

GDEPソリューションズは、GPUコンピューティングやマルチコアCPUの用途開拓や市場創出を目的としてGPU関連企業により2010年に結成されたG-DEP（日本GPUコンピューティングパートナーシップ）が、6年間の活動を経て新たな展開として設立した新会社です。GDEPソリューションズは、NVIDIA

Corporation（米カリフォルニア州）の日本唯一の「Elite Solution Provider」であるG-DEPの事業をより発展させ、ディープラーニングやCAD/CAEなどをターゲットとしてNVIDIA社GPU製品を活用した各種ソリューションをパートナー企業と連携して提供します。また、新しい事業として、製造業ユーザーのシステムやアプリケーションを熟知した強みを生かして、製造業ユーザーに最適なクラウド（コンピューティング、ストレージ）、VDI（仮想デスクトップ）、セキュリティなどのITソリューションを、先進のソフトウェアとハードウェアを組み合わせ、パートナー企業との協業により提供します。

Generated by ぷれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>